

働くことの意義を考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 最近、東京都内の中学校や高等学校から依頼を受け、出張授業としてお話をする機会が増えました。6月23日の月曜日には、足立区立千寿青葉中学校の1年生の皆さんに「働くことの意義を考える」というテーマで出張授業をさせていただきました。

学校からは事前に「何のために学ぶのか」「社会に出るために、中学校時代に何を準備しておいたらよいのか」について話してほしいと言われていましたので、それに添った内容で11時40分から12時30分まで50分間の授業を行いました。親切にも、そのあとに生徒の皆さんと一緒に給食をごちそうになりました。非常においしかったです。
3. 中学生の皆さんにお話をするときには、初めに私が中学生のときに好きだったことばを紹介します。そして、私の中学生の頃の話の少しして、私にも皆さんと同じように中学生のときがありましたよということを伝えます。

私が中学生のときに好きだったことばの1つは、「ブルドッグ魂」です。これは足利市立山辺中学校でクラス担任であった岡田忠治先生から教えていただいたことばです。ブルドッグは一度食い付いたらなかなか離しませんので、1つのことを始めたら途中で止めないよという意味で、岡田先生はこのことばを教えてくださいました。
4. 2つ目は、私が所属していた柔道部の椎名弘先生から教えられた「練習で泣いて試合で笑え」という厳しいことばです。泣きはしませんでした。本当に厳しい練習でした。また、椎名先生には柔道の基本的な考えとして「自他共栄」ということばも教えていただきました。これは、自分だけ栄えるのではなく、みんなも一緒に栄えよう、つまり自分も他人も共に栄えようという意味です。この2つも、「ブルドッグ魂」と同様に素晴らしいことばだと思っていますので、中学生の皆さんに紹介しています。
5. 数学の先生からは「学問に王道なし」ということばを教わりました。これは御自身が勉強するときの糧にしたことばだそうで、よいことばだなと思います。これが3つ目です。

このように、授業の初めに好きなことばを紹介し、皆さんも好きなことばがあったら大事にしてくださいねと話すと、中学生は「ああ、そうか」と思ってくださいます。
6. 次は、私が今している仕事をお話します。学習塾の塾長をしているので、その話・福島市にある私立の有朋高等学院の理事長をしているので、その話・宇都宮大学大学院工学研究科の客員教授をここ数年しているので、大学や大学院の話・手術をするときに使う縫合針を作り、宇都宮市に本社、ベトナムのハノイ・ミャンマーのヤンゴン・ラオスのビエンチャンに現地法人のあるマニー株式会社の社外取締役を6年間ぐらい務めていたので、製造業とはどのような仕事かという話などをして

います。また、25年ぐらい前から足利市にある清明苑という特別養護老人ホームの理事をしているので、介護や福祉はどのような仕事なのかという話もしています。このような話をとおして、世の中には様々な仕事があることを伝えます。

7. そのあとは、働くとは何かについて私の考えをお話します。まず、お客様がいて、そのお客様の問題を解決することでお客様のお役に立ち、お客様のお役に立つことで社会のお役に立つ、これが働くこと、つまり仕事であると話します。そして、働いた結果として報酬を得るわけですが、それは生活できるだけの給料だといいいねという話をします。

ただ、報酬を得るにはいろいろなことがあります。競争相手がいるので、それに勝たなくてはなりません。社会のルールである法律を守って、その範囲の中で仕事をしなければなりません。つまり、ルールの中でのプレイが大事で、これはサッカーや野球などと同じです。このようなお話もします。

8. また、多くの仕事は一人ではできないので、組織やしぐみを作り上げてみんなでチームプレイをしなければなりません。チームプレイとは、自分のポジションは他のメンバーに頼らずに自分できっちりと守り抜くことです。つまり、自分の仕事は自分で完結させるということです。そのためにはチームの他のメンバーを信頼しなければならず、メンバーそれぞれが立派な仕事をしているのだと信頼し合いながら仕事をするのがチームプレイだよと話すと、中学生の皆さんは「ああ、そうなのか」と理解してくれます。

9. それから、すべての仕事には社会的な意味・ミッションがあるというお話をします。たとえばはあまりふさわしくないかもしれませんが、最近お話するのは韓国の船が沈没した事件のことで、船長であれば、最後まで船に残り、お客様の生命を守ってから下船したほうがよかったのではないかというお話をすると、仕事は命懸けでするものだとわかってきます。つまり、仕事をとおしてお客様のお役に立つためには、社会的な使命を感じながらしなければならぬということをお話していただけます。

10. さらに、すべての仕事にはリーダーが必要だというお話をします。会社全体のリーダーは社長さん、その場のリーダーは店長さんなどですが、1つ1つの仕事は自分がリーダーとなって進めなければなりません。ではリーダーとはどのような人かというと、後ろを向いたら人がついてくる人です。頑張ろうと掛け声ばかりかけて、後ろを向いてみたら誰もいなかったというのでは、リーダーにはなれません。また、最後まで責任を持つてものごとを成し遂げる人もリーダーである。このような内容のお話です。

11. 最後には、よい仕事をするときに大事なものは、働く喜びを持つことであるというお話をします。仕事をする上では、高い志を持って自分自身を律しながら行動することが大事だよと話すのです。

12. 今月は、東京都大田区立大森第六中学校と青梅市立霞台中学校、足立区立千寿青葉中学校で出張授業をさせていただきました。7月には、清瀬市にある都立清瀬高等学校の3年生に向けて「大学に入るまでにしたほうがよいことは何か」という内容の授業を行う予定です。

放送をお聴きの皆様の身近に中学生や高校生がいらっしゃったら、「勉強は何のために必要か」「何を勉強したらよいか」などについて、御自身の体験を踏まえながら伝えていただくと有難いです。よろしくお願いたします。